

★今週の聖句

わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。

ヨハネによる福音書 14:27

★ねらい

- ・別れは悲しみと寂しさ、不安をもたらします。しかしイエス様は弟子たちと別れる際にも、平和(平安)を残して行かれます。
- ・イエス様は決して人を孤独のままにされません。

★ポイント

- ・十字架の死は終わりではなく、イエス様が父のもとに帰られることです。
- ・イエス様は去っていくにあたり、残される弟子たちを気遣われます。
- ・彼らが平安のうちに十字架の真理を知るために聖霊の働きを与えられます。

★豆知識

- ・この箇所は、過ぎ越しの祭の前、いわゆる「最後の晚餐」の席上で語られたイエス様の「告別の説教」の一部です。
- ・イエス様が残される平和は、十字架による平和です。この平和は聖霊によって理解されます。

★説教

「え～、そんなこと嘘だ！絶対いやだ！」エリカちゃんのお父さんがお仕事で外国に行かなければならなくなったのです。いつも一緒にいたお父さんとはばらく会えなくなってしまうのです。エリカちゃんは悲しくて仕方がありません。お父さんがいなくなると聞いてから毎日泣いてばかり。お父さんもお母さんも困ってしまいました。そんな時、離れた所に住んでいたおばあちゃんがやってきました。お父さんとお母さんがエリカちゃんを慰めてほしいとこっそりお願いしたのです。エリカちゃんはおばあちゃんが来てくれてとても嬉しかったけど、心の底にはお父さんがいなくなることが忘れられなくて、いつものようには喜ぶことができませんでした。そんな時、おばあちゃんが、自分のお父さんのことを話してくれました。ひいおじいちゃんのことです。ひいおじいちゃんは工場で働いていたけど、途中で病気になって仕事を辞め、毎日おうちで寝ていました。おばあちゃんひいおじいちゃんが毎日家にいてくれてうれしかったけど、おじいちゃんの病気はなかなか良くならなくて苦しそうでかわいそうに思ったそうです。そこでおばあちゃんは神様にお祈りしました。「お父さんと一緒にいられるのはうれしいけど、お父さんの病気がなおってお仕事ができるようになるのはもっと嬉しいです。どうぞお父さんを元気にして下さい。」毎日お祈りしました。毎日お祈りするうちに、おばあちゃんはお父さんと一緒にいることも大事だけど、

一番大事なことはお父さんが元気に働いてくれることだと思うようになったそうです。少し時間がたったけど、ひいおじいちゃんはだんだん病気がよくなって、またお仕事を始めることが出来るようになったそうです。このお話を聞いていたエリカちゃんは、お父さんのことを考えました。お父さんと一緒にいられなくなることは、とってもさびしいことだけど、一番いいことはお父さんが元気にお仕事をしてくれること、そして元気ならば、外国から時々帰って来てまた一緒に遊んでくれると思うようになりました。おばあちゃんは一番いいことに気づかせてくれたんですね。

イエス様は十字架にかかって弟子たちの前からいなくなります。でも聖霊が弟子たちにイエスさまの十字架のことを分かるようにして下さり、けっしてイエスさまと離れ離れになるのではないことを教えてくれました。